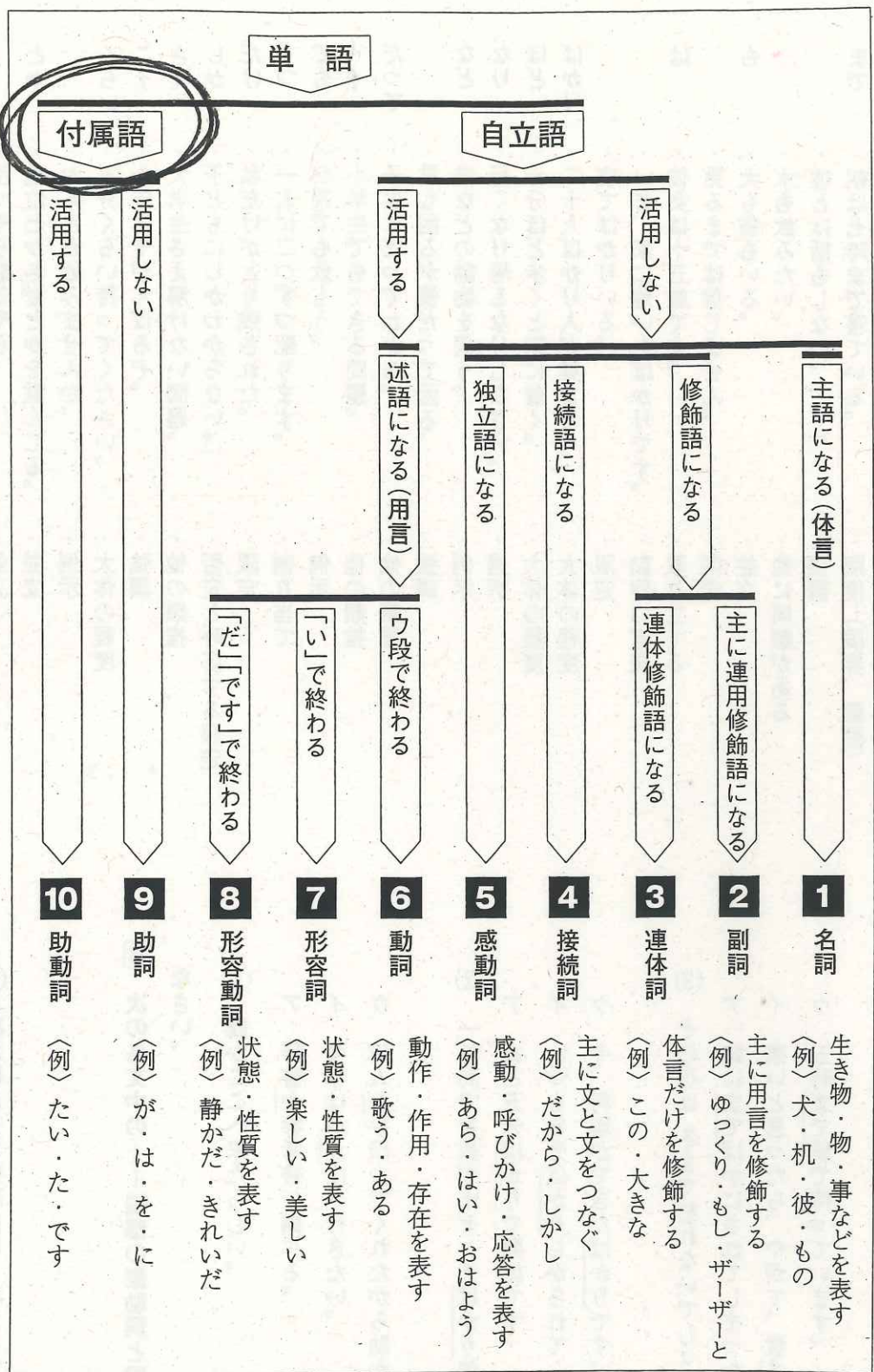


◎品詞分類表（口語）…文法上の性質によって単語を分類した表



今回は
意味と言葉をセットで
覚えて下さい！



困ったときには、
この表を思い出し
ましょう。



頑張って
全部覚えるっぴー！

Ⅳ 付属語

一 付属語の種類

(一) 助詞

犬() 猫() 追いかけた。

右の()の中にはどんな言葉が入るのでしょうか。

(1) 犬(が) 猫(を) 追いかけた。

(2) 犬(を) 猫(が) 追いかけた。

このように、()に入れる言葉によって、追いかける側と追いかられる側が逆転してしまいます。「が」や「を」は、語と語がどのような関係にあるのかを示しているのです。
この「が」「を」のような言葉を助詞といいます。

助詞とは

・付属語で、活用がありません。

・語と語の関係を示したり、いろいろな意味を添えたりします。

種類

① 格助詞…主として体言に付く。

(例) の、が、を、に、へ、と、から、より、で、や

② 副助詞…いろいろな語に付く。

(例) は、も、こそ、さえ、でも、だって、まで、しか、だけ

③ 接続詞…主として用言や助動詞に付く。

(例) ば、と、ので、から、が、けれど、のに、ても、て

④ 終助詞…文や文節の終わりに付く。

(例) か、の、かしら、な、ね、さ、よ、や、ぞ、わ

学習のねらい

学習を確かめよう

① 次の文中の助詞に○を付けなさい。

彼は胸のポケットから、古い大きな万年筆と小さな紙切れを取り出して、メモをしながら私の話を聞いていたよ。

② 次の各文の――線部の助詞の種類をあとから選び、記号で答えなさい。

- (1) 今度こそ勝ちたい。 ()
- (2) こんなやり方でいいのか。 ()
- (3) 私もそう思います。 ()
- (4) この手紙を持って行く。 ()
- (5) 辛いけれど、完食した。 ()
- (6) 先生が姉と話をする。 ()
- (7) 私は大声で叫びたい。 ()
- (8) 話せばわかってもらえるよ。 ()
- (9) 六時までに起きる。 ()
- (10) どんなに寒かろうと、上着は着ない。 ()
- (11) 駅から十分のところにある。 ()
- (12) こんなことはやりたくないや。 ()
- ア 格助詞 イ 副助詞 ウ 接続助詞 エ 終助詞

※助詞は全部で四種類